

Windows XP



できる®

Windows

XP

新機能ガイド

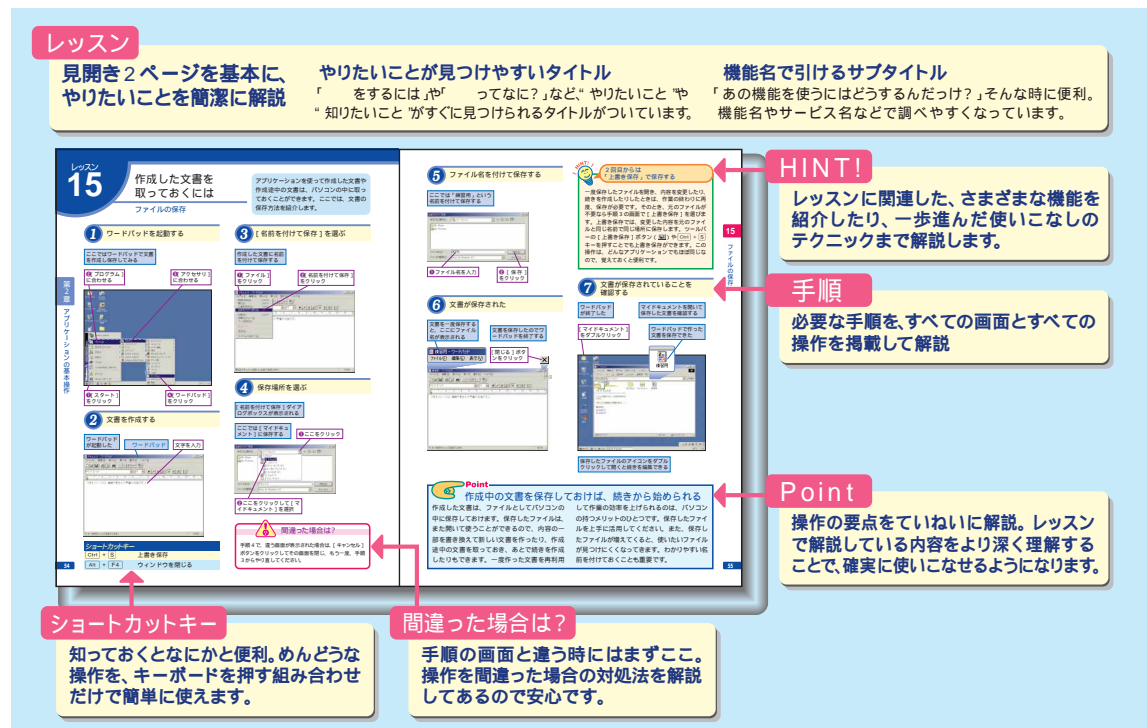
できるシリーズ編集部編

インプレス

# できるシリーズの読み方

できるシリーズは、画面写真をふんだんに使い、操作の流れを紙面に再現した入門書の元祖です。見開き完結のレッスンを基本とし、必要な手順を、すべての画面とすべての操作を掲載して解説しています。章ごとに1つのサンプルを作ったり、用意されたストーリーに沿って操作をすることで、はじめての人でも迷わず進められ、操作をしながら必要な機能や知識を学べるように構成されています。ですから、本書で取り上げるテーマについて、はじめて取り組まれる方は、まずレッスン1から手順通りに進め、本書と同じサンプルを作ってみてください。すべてのレッスンを終えるころには、きっと、さまざまな知識をマスターできるはずですよ。

また、各レッスンに用意された「Point」や「HINT!」では、レッスンに関連した、さまざまな機能を紹介したり、一歩進んだ使いこなしのテクニックまで解説しています。ひとつおりの機能をマスターしたあとは、「やりたいこと」や「知りたいこと」がすぐに見つけられるよう工夫された「レッスンタイトル」や「サブタイトル」を使って必要な情報をすばやく参照し、役立てることができます。



「できる」、「できるシリーズ」は、株式会社インプレスの登録商標です。Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。その他、本文中の製品名およびサービス名は、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の商標または登録商標です。なお、本文中には™および®マークは明記していません。

©2001 Impress Corporation

本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

# まえがき

Windows XPに初めて触れたとき、そのあまりの変わりように愕然とする思いでした。デスクトップにはごみ箱以外に何のアイコンもなく、スタートメニューは2列になっています。ひとたびウィンドウを開けば「~のタスク」と書かれた見慣れないものが表示されます。何よりデザインがカラフルで色鮮やかになったことに驚かされました。Windows 95の発売以来、Windowsは98さらにMeへと進化を遂げてきたわけですが、ここまで変貌したのは初めてでしょう。

では実際の使い勝手はどうかといえば、基本的にはこれまでの操作性が踏襲されており、違和感はありません。細部に配慮の行き届いた機能が追加され、従来版からXPに乗り換えた人はより使いやすくなったと感じるでしょう。もしどこかですまずくことがあったとしても、本書を読んであらかじめ違いを理解しておけば簡単にクリアできるはずですよ。本書をナビゲーターとして役立ててください。

2001年10月  
神田知宏

## できるWindows XP 新機能ガイド

- 1 Windows XPってどんなもの? <Windows XPの特徴> ..... 2
- 2 アプリケーションを起動するには <[スタート]メニュー> ..... 4
- 3 ファイルを操作するには <タスク> ..... 6
- 4 ウィンドウを切り替えるには <タスクボタン> ..... 8
- 5 CD-Rにファイルを保存するには <CD書き込みウィザード> ..... 10
- 6 デジカメで撮った写真を保存するには <スキャナとカメラウィザード> ..... 14
- 7 オリジナルの音楽CDを作るには <Windows Media Player> ..... 18
- 8 Windows XPをもっと使いこなす <そのほかの新機能> ..... 22

付録 mini用語集 ..... 24

### 用語の使い方

本文中では、「Microsoft® Windows® XP」のことを「Windows XP」、「Microsoft® Windows Media™ Player for Windows XP」のことを「Windows Media Player」と記述しています。また、本文中で使用している用語は、基本的に実際の画面に表示される名称に則っています。

### 本書の前提

各レッスンは、Windows XPがインストールされたパソコンで、インターネットへの接続設定ができていないことを前提に解説しています。

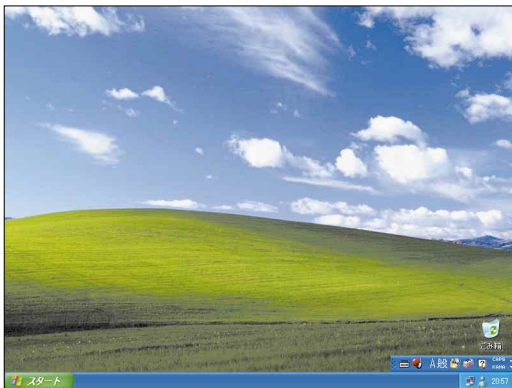
# Windows XPって どんなもの？

Windows XPの特徴

## 大きく変わったWindows XP

Windows XPでは、基本操作である「ウィンドウやアイコンの使い勝手」が向上しています。鮮やかな色のボタンや大きなアイコンが採用され、操作の目印が分かりやすくなりました。ボタンやスクロールバーはマウスポインタを合わせると色が変わるので、Windowsの反応する位置がひと目で分かります。また、Windows XPではマルチメディア機能が強化されていて、より音楽や映像を楽しみやすくなっています。

デスクトップがすっきり  
標準のデスクトップには、[ごみ箱]  
以外のアイコンはありません



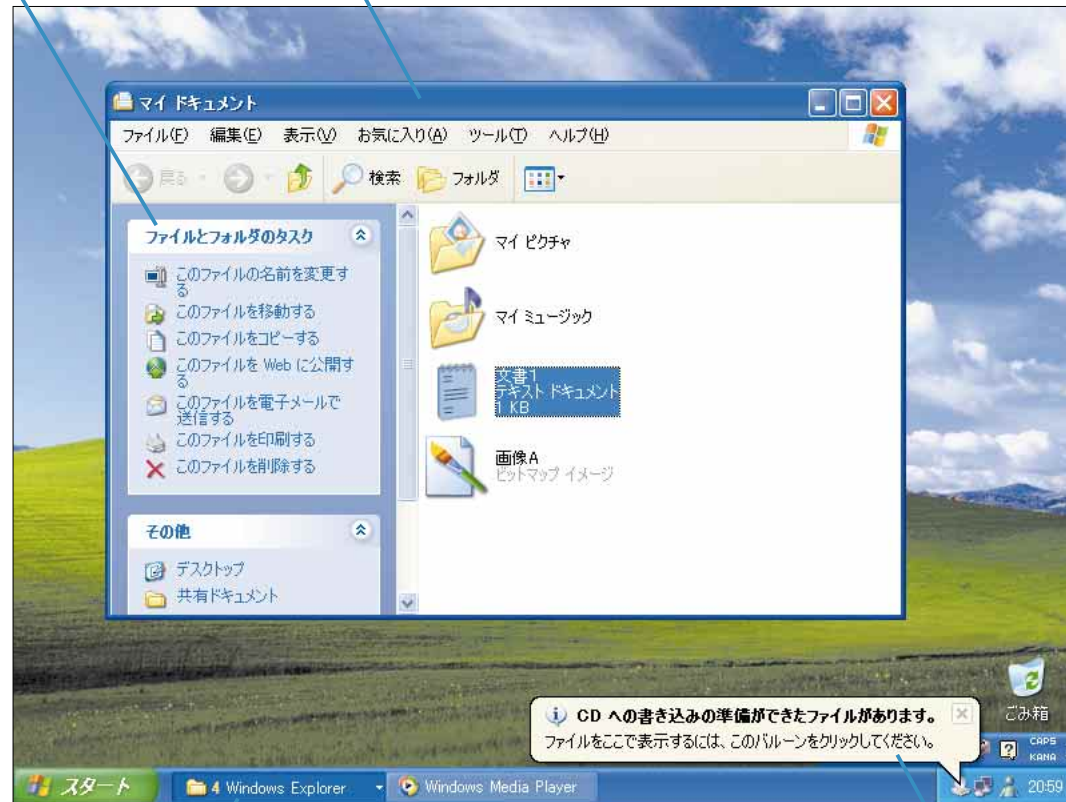
**HINT!** Home EditionとProfessionalの違いは？

Windows XPには、Home EditionとProfessionalの2種類があります。Home Editionは家庭向け、Professionalは企業や仕事向け、と考えればよいでしょう。Professionalには、企業のネットワークに接続したり、LANを便利に使うための機能があります。

Windows XPは、基本ソフト「Windows」の最新版です。はじめに、Windows XPの新機能や強化された機能を簡単にながめておきましょう。

カラフルになったウィンドウ  
グラデーションや鮮やかな色が多く  
使われ、操作の目印が分かりやすくな  
っています

ファイルの操作はタスクで  
ファイルのコピー・移動や削除とい  
った操作は、ウィンドウの左端にあ  
る「タスク」欄で選びます

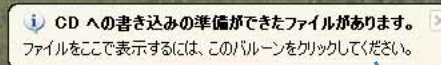


ウィンドウをグループ化  
表示中のウィンドウが多くなると、  
同じ種類のウィンドウが自動的にグ  
ループ化されます

拡張された[スタート]メニュー  
[スタート]メニューが2列になりました。  
[マイドキュメント]ウィンドウな  
どもこのメニューから開けます



バルーンが教えてくれる  
Windowsからの各種メッセージは、  
ウィンドウではなく「バルーン」の  
形で表示されます



機能が増えたマイピクチャ  
画像用のフォルダ「マイピクチャ」  
に機能が追加され、内容の確認や印  
刷などの操作が簡単になりました



マイミュージックで音楽を管理  
音楽用のフォルダ「マイミュージック」  
では、音楽ファイルの再生や音  
楽CDの作成ができます



CD-Rも標準サポート  
市販のライティングソフトを使わな  
くとも、ファイルをCD-RやCD-  
RWにコピーできます

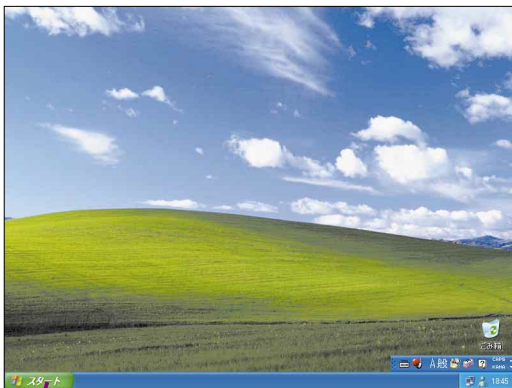


# アプリケーションを起動するには

[スタート]メニュー

## 1 [スタート]メニューを表示する

[スタート]メニューからアプリケーションを起動する



[スタート]をクリック

Windows Meや2000と同じように、アプリケーションの起動には[スタート]メニューを使います。Windows XPの[スタート]メニューは2列になっています。

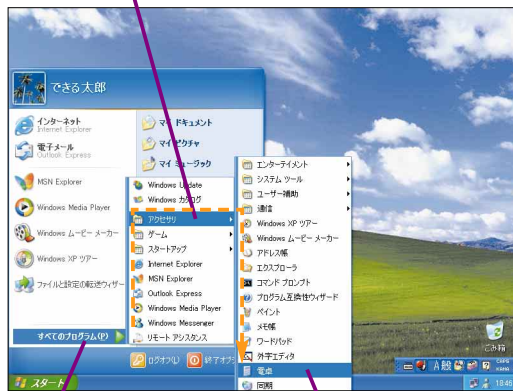
## 2 [スタート]メニューが表示された

[スタート]メニューが表示された



## 3 電卓を起動する

① [アクセサリ]にマウスポインタを合わせる



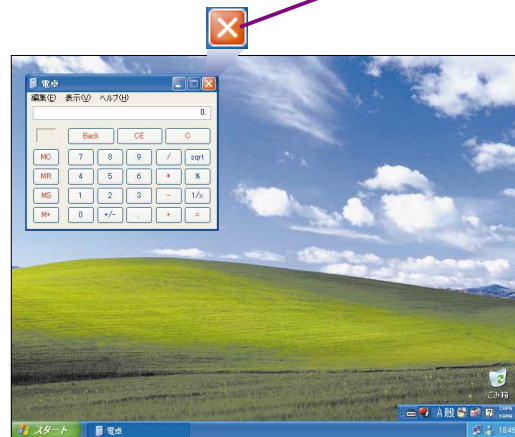
① [すべてのプログラム]にマウスポインタを合わせる

③ [電卓]をクリック

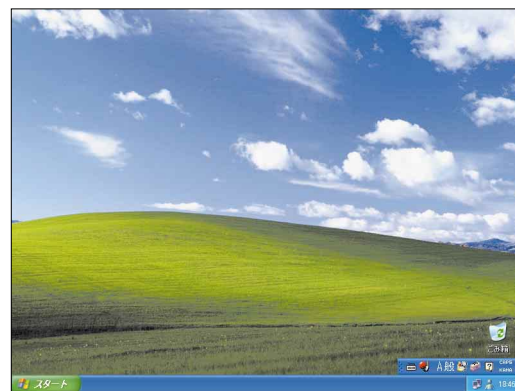
## 4 電卓が起動したことを確認する

起動の確認ができたなら電卓を終了する

[閉じる]ボタンをクリック



電卓が終了し、デスクトップが表示された



追加したアプリケーションは強調表示される

アプリケーションを新しくセットアップすると、追加された項目がオレンジ色で強調表示されます。そのため、セットアップしたアプリケーションの位置がすぐに分かります。



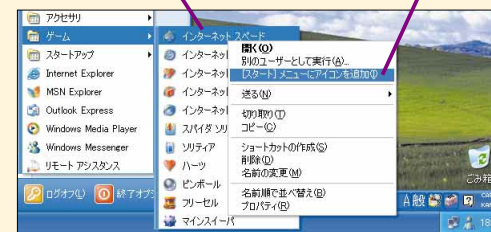
オレンジ色の背景色で強調表示される

## プログラムをすばやく起動するには

特定のアプリケーションをすばやく起動したいなら、[スタート]メニューの左の列に追加しておくといでしょう。[すべてのプログラム]で目的のアプリケーションのアイコンまたはプログラム名を右クリックして、ショートカットメニューで[[スタート]メニューにアイコンを追加]をクリックします。

① ここを右クリック

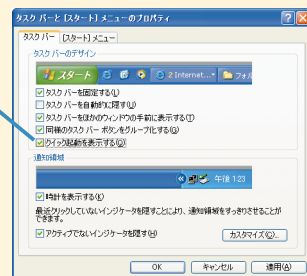
② ここをクリック



## クイック起動バーも表示できる

タスクバーには、Windows Meや2000と同じ[クイック起動]バーを表示できます。表示/非表示は「タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ」で設定します。タスクバーを右クリックしたあとショートカットメニューで[プロパティ]を選び、表示されるダイアログボックスで[クイック起動を表示する]にチェックを付けます。

ここにチェックを付ける



## Point

### よく使うプログラムは左の列に表示される

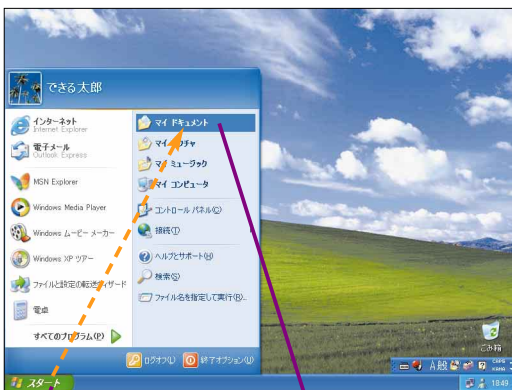
[スタート]メニューの左の列には、よく使うプログラムのアイコンが並んでいます。区切り線よりも上は固定ですが、下はプログラムの使用頻度に応じて常に変化します。起動したいプログラムが左の列にあれば、すばやく起動することができます。

一方、右の列には[マイドキュメント]などが並んでいて、クリックすると対応のフォルダが開きます。Windows Meや2000ではデスクトップでアイコンをダブルクリックする必要がありましたが、Windows XPではクリック操作だけで開けるようになっています。

# ファイルを操作するには タスク

## 1 マイドキュメントを表示する

マイドキュメントに保存してあるファイルを操作する



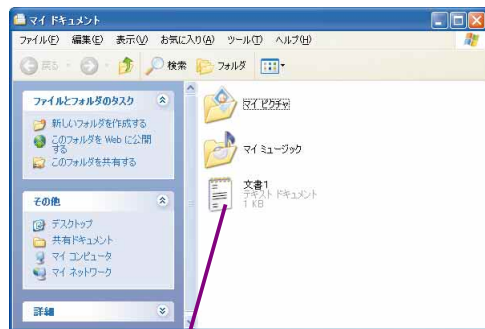
1 [スタート]をクリック

2 [マイドキュメント]をクリック

## 2 操作したいファイルを選択する

マイドキュメントが表示された

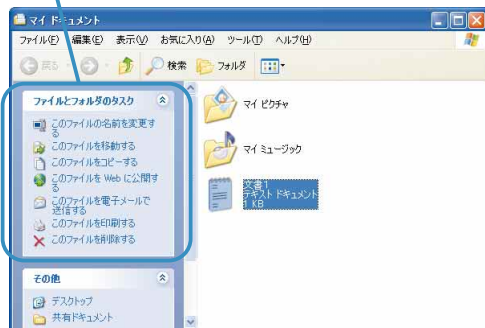
ここでは[文書1]を操作してみる



[文書1]をクリック

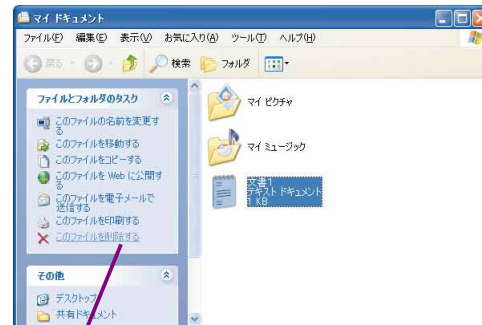
## 3 タスクの項目が変わった

[ファイルとフォルダのタスク]の項目の内容が変わった



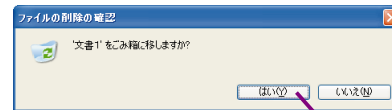
ファイルのコピー・移動や削除など、おもなファイル操作はウィンドウの[タスク]欄で選ぶことができます。フォルダやウィンドウの操作もできます。

## 4 ファイルを削除する



1 [このファイルを削除する]をクリック

[ファイルの削除の確認]ダイアログボックスが表示される



2 [はい]をクリック

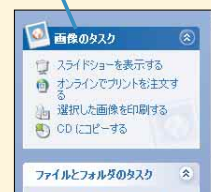


フォルダに応じたタスクが表示される

[マイピクチャ]など画像ファイル用のフォルダには、通常のタスク欄に加えて[画像のタスク]欄が表示されます。画像の印刷など、画像関係の操作ができます。また、音楽ファイル用のフォルダには[ミュージックのタスク]欄が表示され、音楽ファイルの再生などが可能です。

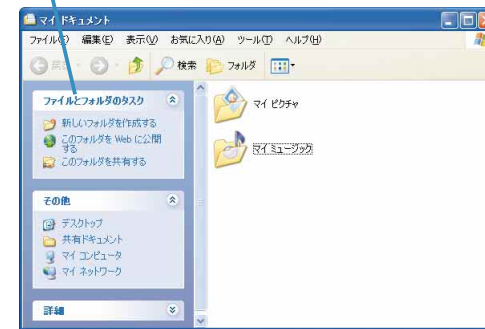
[マイピクチャ]に表示されるタスク

[マイミュージック]に表示されるタスク



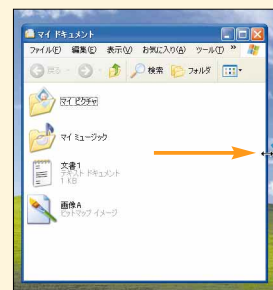
## 5 ファイルが削除された

選択していたファイルがなくなったため、[ファイルとフォルダのタスク]の項目が元に戻った



タスクが隠れているときは

タスク欄は、ウィンドウの幅がある程度ないと表示されません。タスク欄が隠れているときは、ドラッグ操作でウィンドウの幅を広げましょう。また[ファイルとフォルダのタスク]などがタイトルしかないときは、右端にある[ ]ボタンをクリックして内容を表示します。



タスクが表示される幅になるまでドラッグする



## Point 選択中のアイコンによって内容が変わる

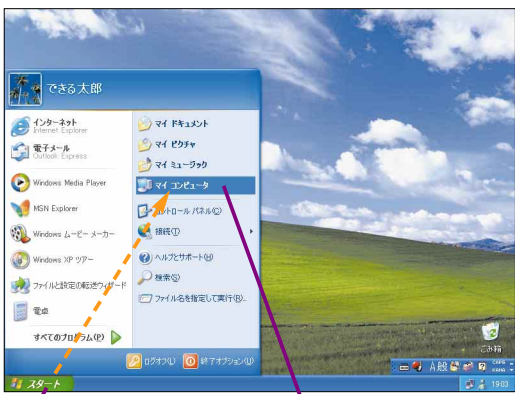
ウィンドウの左端にあるタスク欄は、選択中のアイコンによって内容が変わります。ファイルを選択中ならファイル操作のタスク、フォルダならフォルダ操作のタスクです。関係のある機能だけが表示されるので、目的の操作をすばやく選ぶことができます。

また[その他]欄では、[マイコンピュータ]などのウィンドウやコントロールパネルを開くことができます。ウィンドウによっては、タスク欄から関連項目やヘルプを表示できる場合もあります。タスクに注意していれば、操作の効率がアップするはずです。

# レッスン 4

## ウィンドウを切り替えるには タスクボタン

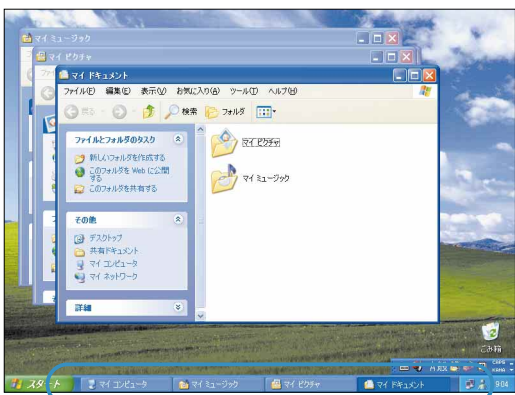
### 1 複数のウィンドウを開く



- ① [スタート] をクリック
- ② [マイコンピュータ] をクリック

同様の手順でいくつかのウィンドウを開く

### 2 複数のウィンドウが開いた

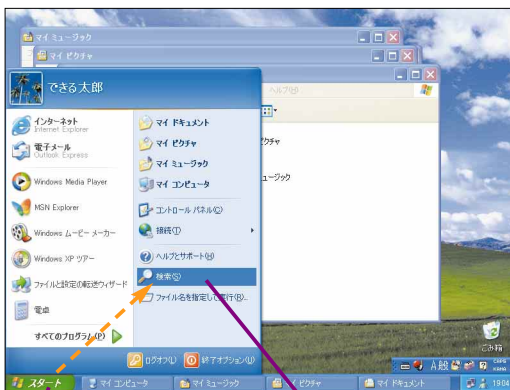


タスクバーがいっぱいになっている

Windows XPには、タスクボタンの「グループ化」という機能があります。そのため、アクティブウィンドウの切り替え方法がWindows Meなどと少し違います。

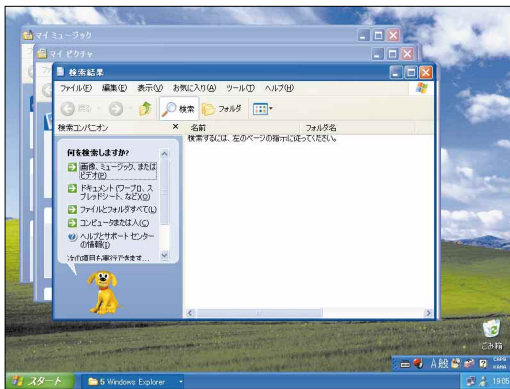
### 3 [検索] を開く

さらにウィンドウを開いてみる



- ① [スタート] をクリック
- ② [検索] をクリック

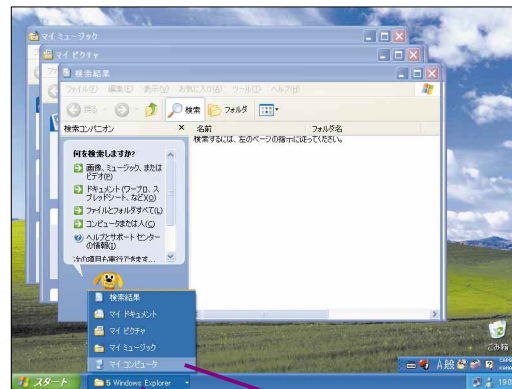
[検索結果] ウィンドウが開いた



同じ種類のウィンドウがグループ化された

### 4 [マイコンピュータ] を表示する

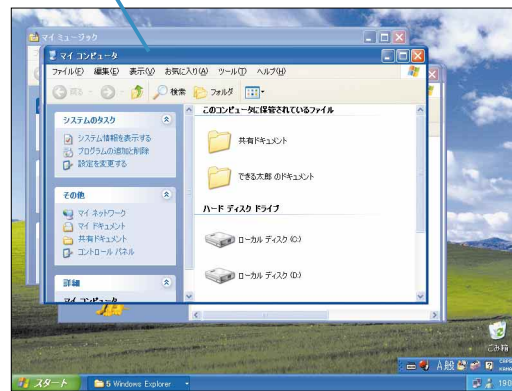
後ろに隠れた [マイコンピュータ] を表示する



- ① [Windows Explorer] をクリック
- ② [マイコンピュータ] をクリック

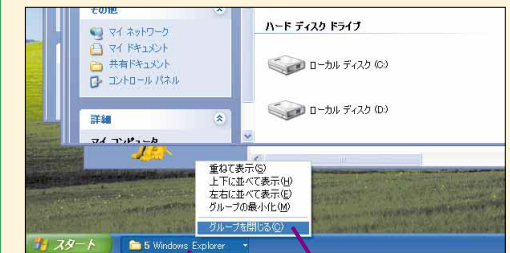
### 5 [マイコンピュータ] が表示された

最前面に表示された



### グループをすべて閉じるには

グループ化されているウィンドウをまとめて閉じたいときは、タスクボタンを右クリックして、ショートカットメニューで [グループを閉じる] をクリックします。このショートカットメニューでは、グループ内のウィンドウをまとめて最小化したり、並べて表示することもできます。

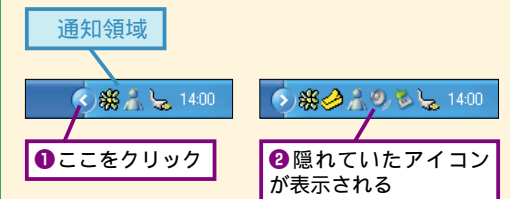


- ① 閉じたいグループを右クリック
- ② [グループを閉じる] をクリック



### 自動的に隠れる通知領域のアイコン

タスクバーの右端にある通知領域には、各種のアイコン（インジケータ）が表示されています。Windows XPでは、動作していないインジケータや使用していないインジケータは、自動的に非表示になります。表示するには [<] ボタンをクリックします。



- ① ここをクリック
- ② 隠れていたアイコンが表示される



### Point ウィンドウが多くなるとグループ化される

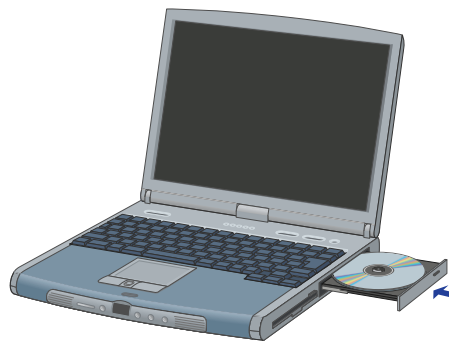
同じ種類のウィンドウをたくさん表示すると、タスクボタンが自動的にグループ化されます。ボタンの幅が狭くならないため、ウィンドウのタイトルをひと目で区別できる、というメリットがあります。コントロールパネルも含め、スタートメニューの右の列から表示したウィンド

ウは、ほとんどが [Windows Explorer] というグループに含まれます。一方、たくさんアプリケーションを起動すると、タスクボタンはアプリケーションごとにグループ化されます。違うアプリケーションどうしはグループ化されません。

# CD-Rにファイルを保存するには

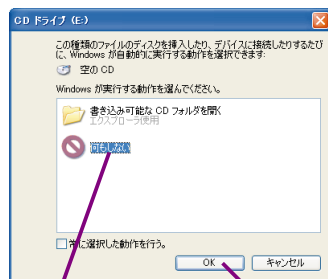
## CD書き込みウィザード

### 1 パソコンにCD-Rをセットする



CD-Rドライブにセットする

### 2 確認のダイアログボックスが表示される



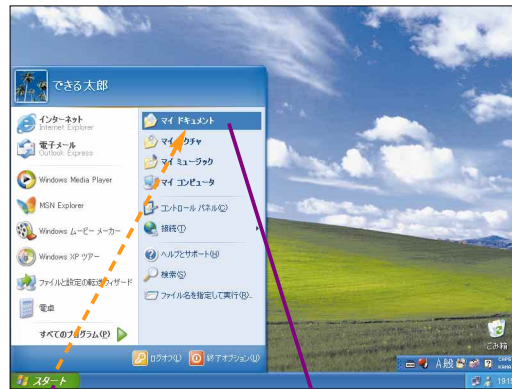
1 [何もしない]をクリック

2 [OK]をクリック

Windows XPでは、CD-RやCD-RWに書き込み（コピー）ができるようになりました。Windows Meや2000のように、特別なライティングソフトは必要ありません。

### 3 コピーしたいファイルを表示する

ここではマイドキュメントのファイルのコピーする



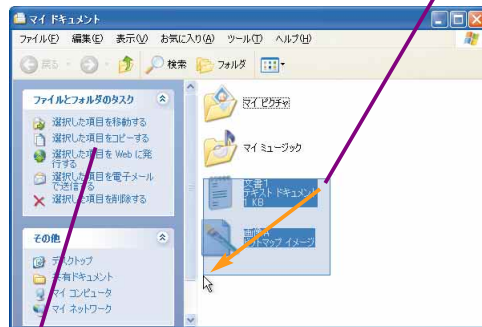
1 [スタート]をクリック

2 [マイドキュメント]をクリック

### 4 コピーしたいファイルを選択する

ここでは「文書1」と「画像A」を選択する

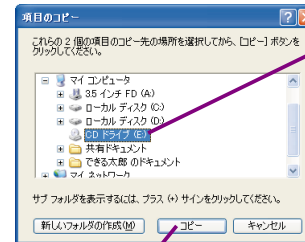
1 [文書1]と[画像A]をドラッグして選択



2 [選択した項目をコピーする]をクリック

### 5 コピー先を指定する

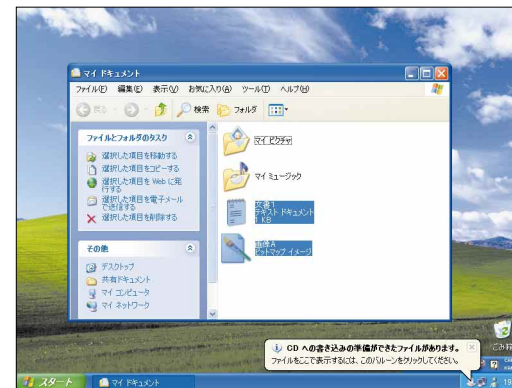
[項目のコピー]ダイアログボックスが表示される



1 [CDドライブ]をクリックして選択

2 [コピー]をクリック

### 6 バルーンが表示される



ここをクリック

### 間違った場合は?

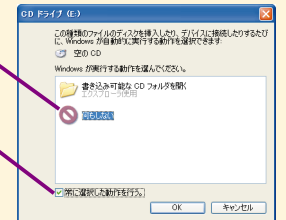
バルーンが表示されないときは、[スタート]メニューで[マイコンピュータ]をクリックしたあと、表示されるウィンドウで[CDドライブ]アイコンをダブルクリックします。

### CDをセットしたときに次の動作を選ぶ

CDドライブにCD-RやCD-RW、音楽CDなどをセットすると、「次にWindowsが何をするか」を選ぶためのダイアログボックスが表示されます。空のCD-Rをセットした場合には、[書き込み可能なCDフォルダを開く]と[何もしない]から選ぶことができます。いつも[何もしない]を選ぶなら、[常に選択した動作を行う]にチェックを付けておくとよいでしょう。

1 動作を選択

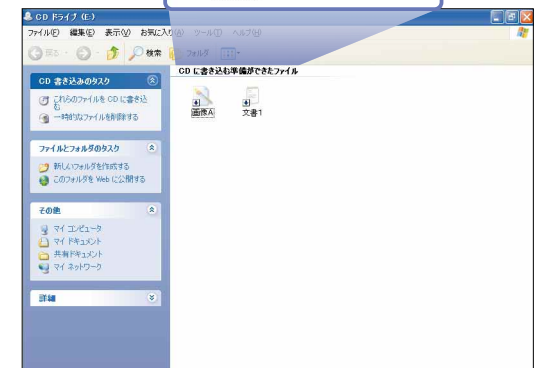
2 ここにチェックを付ける



### 7 CDドライブのウィンドウが表示される

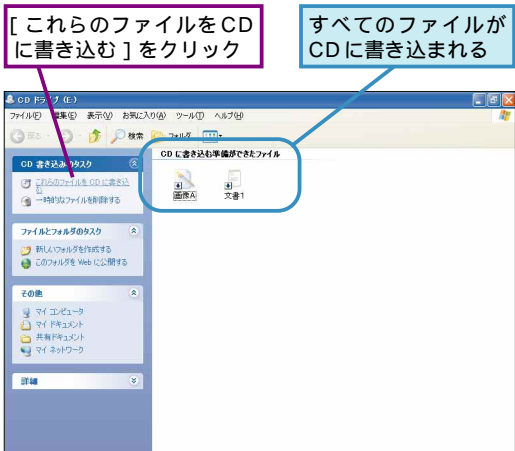
書き込む準備のできたファイルが表示される

CDに書き込む準備ができたファイル



次のページに続く

## 8 CD書き込みウィザードを開始する

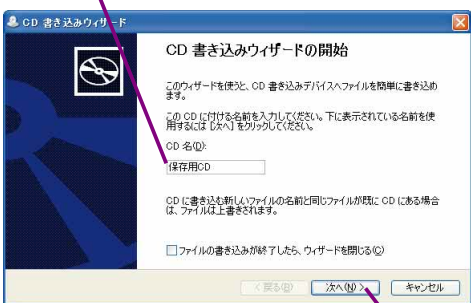


## 9 書き込みを開始する

CD書き込みウィザードが開始される

CDに名前を付ける

① CDの名前を入力

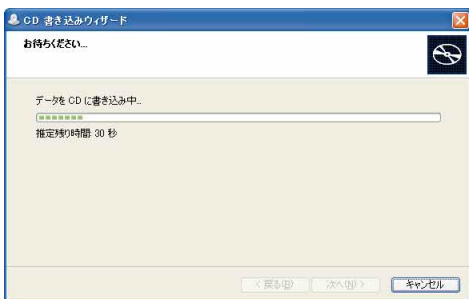


書き込みが開始される

② [次へ]をクリック

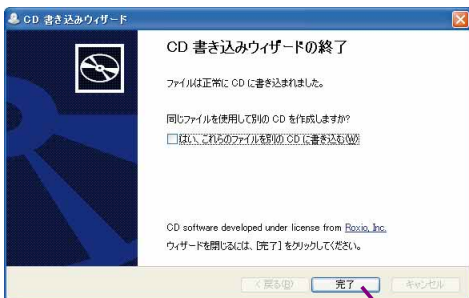
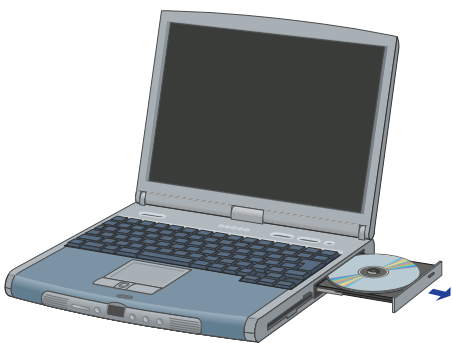
## 10 CDにデータが書き込まれる

進行状況が表示される



## 11 書き込みが完了した

書き込みが終わると自動的にCD-Rがイジェクトされる



[完了]をクリック

## 12 CDドライブのウィンドウを閉じる

[閉じる]ボタンをクリック

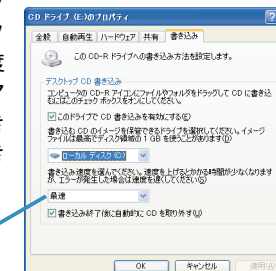


CDにファイルを保存できた

### 間違った場合は?

うまく書き込みできないようなら、書き込み速度を遅くしてみましょう。まず[マイコンピュータ]ウィンドウで[CDドライブ]アイコンを右クリックし、ショートカットメニューで[プロパティ]をクリックします。書き込み速度は、表示されるダイアログボックスの[書き込み]タブで設定できます。

ここで書き込み速度を設定する



### Point CD-Rへのコピーには2段階の手順がある

CD-R/RWにファイルを保存するには、CD-Rドライブにコピー、CDに書き込み、という2段階の操作が必要です。タスク欄で[これらのファイルをコピーする] / [選択した項目をコピーする]を選んでも、フロッピーディスクなどと違ってすぐにはコピーされません。い

### HINT! マイピクチャから画像をコピーする

[マイピクチャ]フォルダには[画像のタスク]欄があり、[すべての項目をCDにコピー]を選択することができます。一部の画像だけをコピーしたいなら、目的のアイコンを選択したあと[CDにコピーする]を選びます。どちらの場合もバルーンが表示されるので、あとの手順はこのレッスンと同じです。

ここをクリックするとCDに画像がコピーされる



### HINT! CD-RWを使うには

CD-RWはCD-Rと違い、保存されているファイルをまとめて消すことができます。ファイルを消したいときは、タスク欄で[このCD-RWを消去する]をクリックします。購入直後のCD-RWでも、この機能を実行しないと、ファイルの追記ができない場合もあります。

ここをクリックするとCD-RWに保存されているデータがすべて消去される



ったんCDドライブのウィンドウに集められ、書き込み「待ち」の状態になります。実際にコピーするには、タスク欄で[これらのファイルをCDに書き込む]を実行します。なお、使用済みのCD-R/RWでも、空き領域があればファイルを追加することができます。



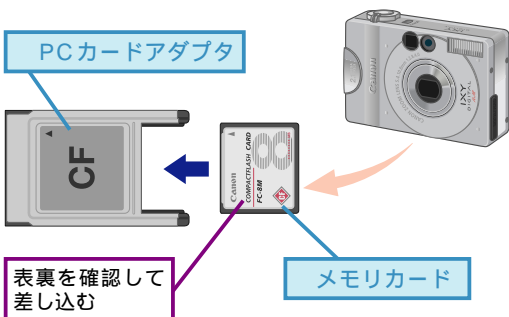
# デジカメで撮った 写真を保存するには

スキャナとカメラウィザード

Windows XPには、デジカメ写真をパソコンに取り込むための機能があります。メモリーカードを使うタイプのデジカメなら、どの機種にも対応しています。

## 1 PCカードアダプタにメモリーカードを挿入する

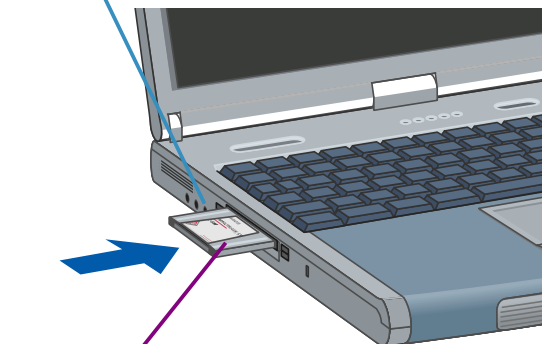
撮影した写真をPCカードアダプタ経由でパソコンに取り込む



**注意** お使いのデジタルカメラによってメモリーカードの種類は異なります。メモリーカードに合ったPCカードアダプタを用意してください

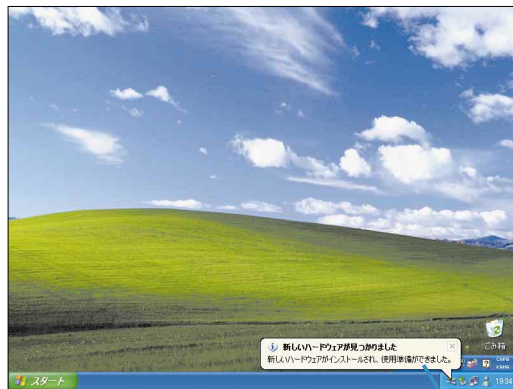
## 2 パソコンにPCカードアダプタを挿入する

PCカードスロット  
2枚挿せるタイプの場合  
はどちらに挿してもよい



PCカードスロットにPCカードを押し込む

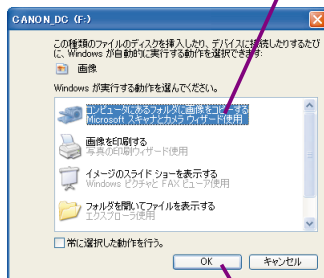
## 3 メモリーカードが認識される



最初に接続したときだけ  
バルーンが表示される

しばらくすると、確認のダイアログボックスが表示される

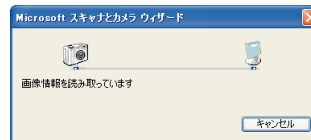
### 1 [スキャナとカメラウィザード使用] をクリックして選択



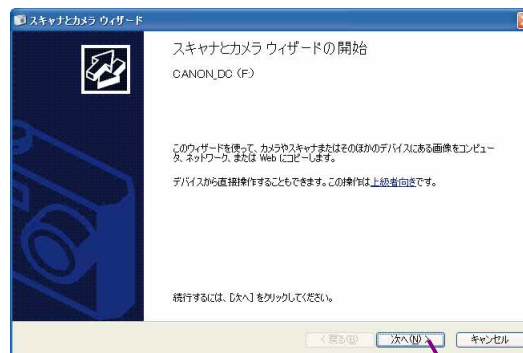
2 [OK] をクリック

## 4 [スキャナとカメラウィザード] が開始される

パソコンに画像の情報が読み取られる



しばらくするとウィザードが開始される



[次へ] をクリック

## 5 読み込む画像を選ぶ

カメラに保存されている  
画像の一覧が表示される

チェックの付いている  
画像が取り込まれる



ここではすべての  
画像を取り込む

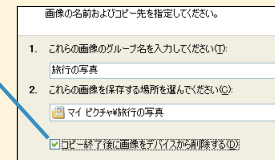
[次へ] をクリック



コピーしたあとに画像を  
削除するには

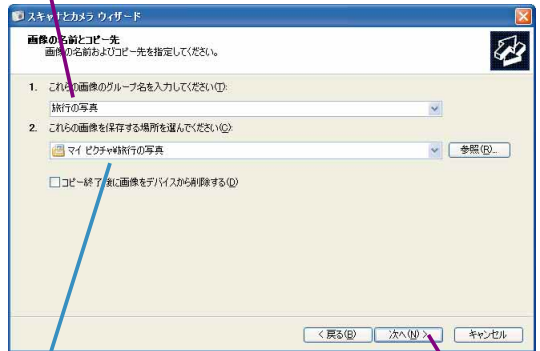
パソコンに取り込んだあと、メモリーカード内の画像を削除することもできます。手順6の画面で、[コピー終了後に画像をデバイスから削除する]にチェックを付けます。

ここにチェック  
を付ける



## 6 画像のグループに名前を付ける

### 1 グループの名前を入力

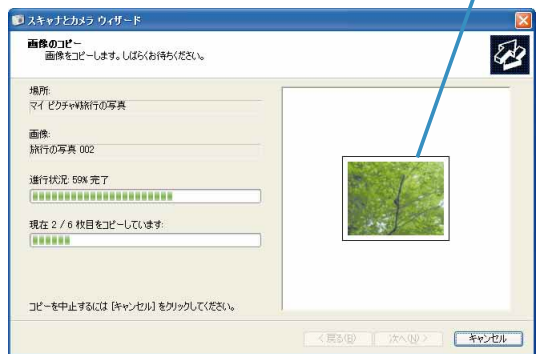


画像のグループは [マイピクチャ] フォルダに保存される

2 [次へ] をクリック

画像のコピーが  
開始される

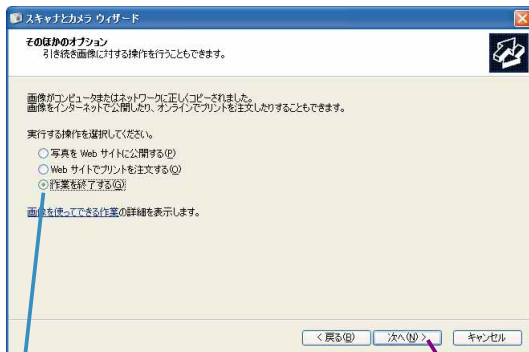
コピー中の画像のプレ  
ビューが表示される



次のページに続く

## 7 ウィザードを終了する

画像のコピーが完了した



[作業を終了する] が選択されていることを確認

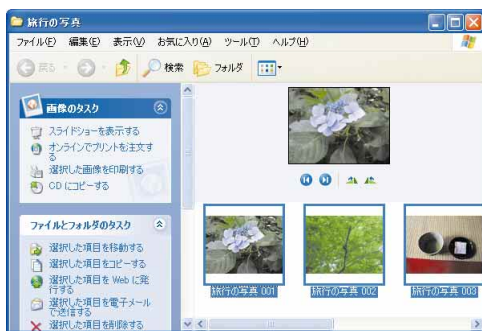
① [次へ] をクリック



② [完了] をクリック

## 8 コピーが完了した

ウィザードが終了すると写真を保存したフォルダが自動的に開く



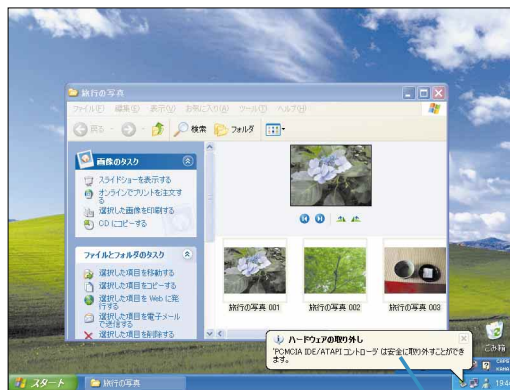
## 9 PCカードアダプタを取り出す

コピーが終わったらメモリカードを取りはずす

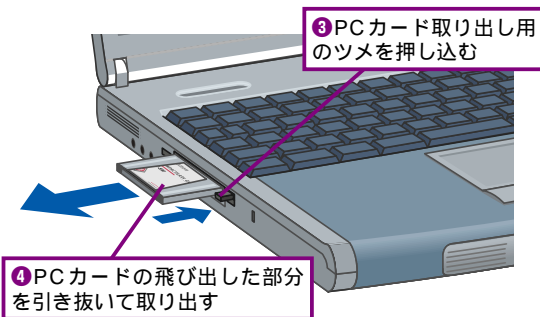


① ここをクリック

② ここをクリック



バルーンが表示されたことを確認する



④ PCカードの飛び出した部分を引き抜いて取り出す

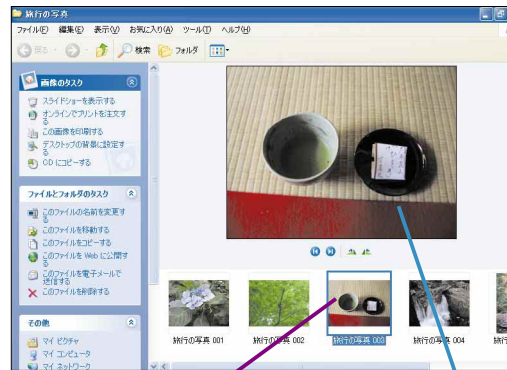
## 10 ウィンドウを最大化する

画像が見やすいようにウィンドウを最大化する

[最大化] ボタンをクリック



## 11 コピーした画像を確認する



見たい画像をクリックして選択

選択した画像のプレビューが大きく表示される



Point

### 「スキャナとカメラウィザード」を選ぶ

[スキャナとカメラウィザード] は、メディア内の画像をパソコンに取り込むための機能です。デジカメのメモリカードだけでなく、CD-R やリムーバブルディスクにも対応しています。手順3のようなダイアログボックスが表示されないときは、[マイコンピュータ] で



USBケーブルでも写真を取り込める

デジカメの製品によっては、USBケーブルで接続した際にも [スキャナとカメラウィザード] を利用できるものがあります。ウィザードの操作方法は、このレッスンと同じです。

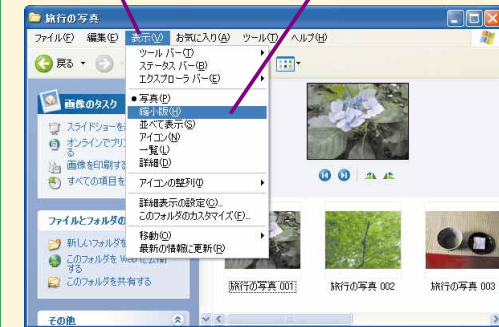


画像を一覧で表示するには

大きなプレビューを消したいときは、ウィンドウの [表示] メニューで [縮小版] をクリックします。元に戻すには、同じメニューで [写真] をクリックします。

① [表示] をクリック

② [縮小版] をクリック



# オリジナルの音楽CDを作るには

Windows Media Player

パソコンで音楽CDを再生したいときは、Windows Media Playerを使います。Windows XP付属のものなら、オリジナルの音楽CDを作ることができます。

## 1 パソコンに音楽CDをセットする



録音したい音楽CDをセットする

## 2 確認のダイアログボックスが表示される

[オーディオCDの再生]が選ばれていることを確認



[OK]をクリック

Windows Media Playerが起動する

## 3 音楽CDのコピー画面を表示する

[CDからコピー]をクリック



[停止]ボタンをクリックすると再生が停止する

## 4 曲をパソコンにコピーする

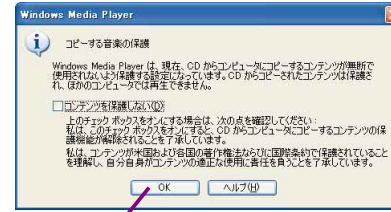
ここではすべての曲をコピーする

コピーしたい曲にチェックを付ける

[音楽のコピー]をクリック



## 5 著作権保護の確認をする



[OK]をクリック

コピーが開始される

## 6 コピーが終了した

すべての曲が[ライブラリ]にコピー済みになった



同様の手順で何枚かのCDをパソコンにコピーする

## 7 録音用のCD-Rをセットする

パソコンから音楽CDを取り出し、空のCD-Rをセットする

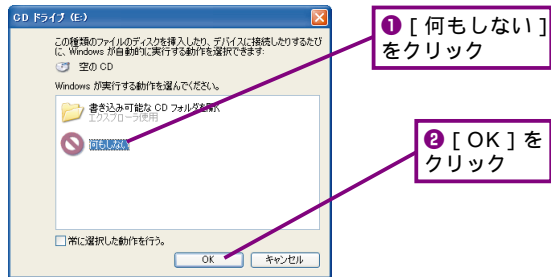


**HINT!** CDの情報はインターネットから取得できる

洋楽など一部の音楽CDは、インターネットから各種の情報を取り込むことができます。インターネットに接続した状態で音楽CDをセットすると、曲のタイトルやアーティスト名、作曲者、アルバムジャケットなどの情報が表示されます。

## 8 確認のダイアログボックスが表示される

ここでは[何もしない]を選ぶ

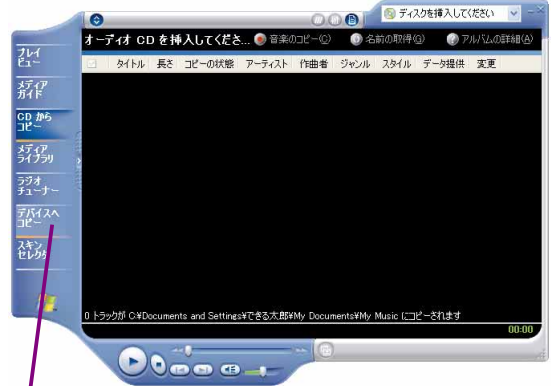


1 [何もしない]をクリック

2 [OK]をクリック

## 9 コピーの準備をする

Windows Media PlayerからCD-Rへ曲をコピーする



[デバイスへコピー]をクリック

次のページに続く

### 10 楽曲の一覧を表示する



①ここをクリック

②[すべてのオーディオ]をクリック

パソコンに保存されている曲の一覧が表示された

③ここをクリックして一度すべてのチェックを外す



### 11 オリジナルCDに録音したい曲を選ぶ



録音したい曲にチェックを付ける

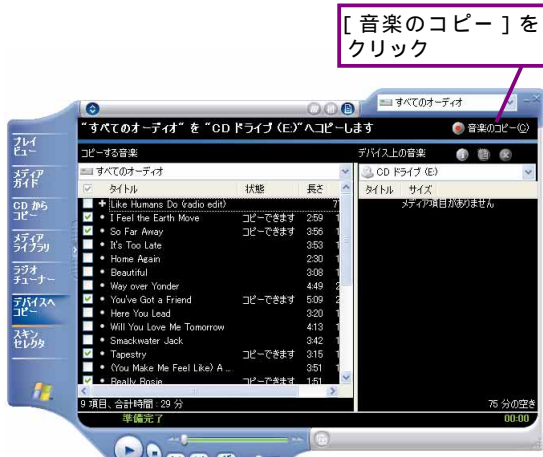
曲名をダブルクリックすると曲が再生され、内容を確認できる

選択した曲の合計時間が表示される

CD-Rに録音できる時間の合計が表示される

注意 録音が始まると中止や変更はできません。曲を選ぶときには、間違えないようによく確認しましょう

### 12 CD-Rに録音する



[音楽のコピー]をクリック

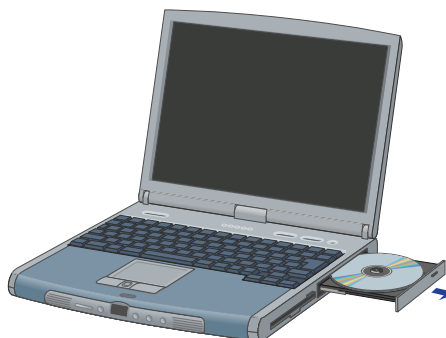
録音が始まる

### 13 コピーが終了した



録音した曲の一覧が表示される

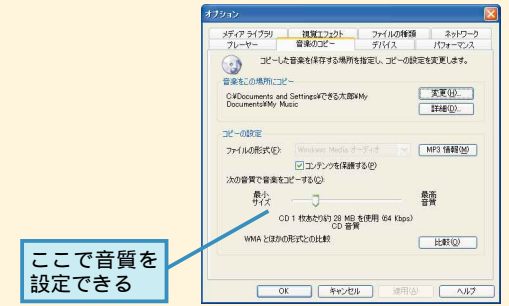
録音が終わるとCD-Rが自動的にイジェクトされる



録音済みのCD-Rは普通のCDプレーヤーで再生できる

### HINT! 音質を良くするには

コピーする曲の音質は、[オプション]ダイアログボックスの[音楽のコピー]タブで設定できます。ダイアログボックスは、[ツール]メニューの[オプション]で表示できます。



ここで音質を設定できる

### HINT! パソコンにコピーした曲はマイミュージックで管理できる

Windows Media Playerで取り込んだ曲は、[マイミュージック]フォルダのサブフォルダに保存されています。[マイミュージック]の中に「アーティスト名」のフォルダ、その中に「アルバム名」のフォルダがあります。曲はアルバム名のフォルダに入っています。



自動的にアーティストごとのフォルダに分類される

### Point Windows Media Playerを使う

データ用のCDと音楽用のCDは記録の方式が違います。そのため、音楽ファイルをレッスン⑤の方法でCD-Rにコピーしても、できあがるのはデータCDです。パソコンがないと曲を再生できません。普通のCDプレーヤーで再生したいなら、Windows Media Playerの機能

でコピーしましょう。ただし、コピーといっても完全に同じではありません。音楽CDの曲をいったん圧縮形式に変換するので、設定によっては音質が劣化します。「オリジナル曲の完全なコピーではない」ことを覚えておきましょう。

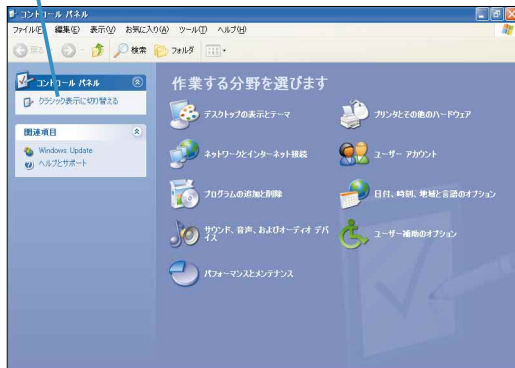
# Windows XPをもっと使いこなす

そのほかの新機能

## 新しくなったコントロールパネル

コントロールパネルには、9つの「カテゴリ」が表示されます。アイコンの数が少ないため、目的の機能を探しやすくなっています。Windows Meや2000のような「クラシック表示」に切り替えることもできます。

ここをクリックするとクラシック表示に変更される



## 情報はバルーンでお知らせ

Windowsからのメッセージは画面の右下に「バルーン」形式で表示されます。バルーンをクリックすると、対応する機能が自動的に始まります。[X] ボタンで閉じることもできます。

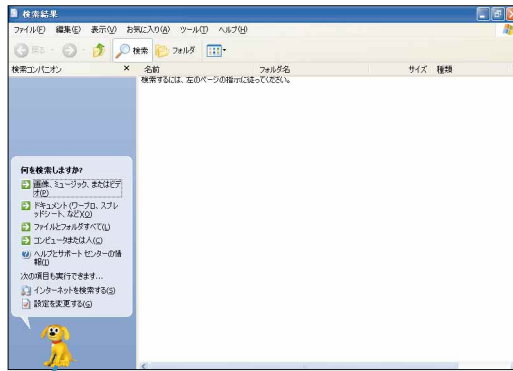
バルーンを閉じるにはここをクリックする



このレッスンでは、そのほかの新機能・強化機能のうち、重要なものや便利なものを紹介します。具体的な操作方法は、ぜひ自分の手で体験してみてください。

## 検索もより便利に

いろいろな検索機能が「検索コンパニオン」という機能に統合されました。ファイル、コンピュータ、インターネットのホームページなど、各種の情報を対話形式で探すことができます。



キャラクターが検索の方法を案内してくれる

## 言語バーをスマートに格納

Windows XPの言語バーはタスクバーの右端に結合できます。結合してもすべてのボタンが表示されるので、日本語入力システムの機能をすばやく選ぶことができます。

① [最小化] ボタンをクリック

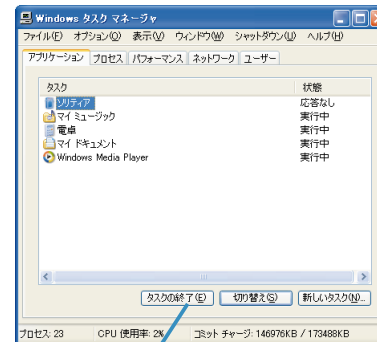


② 言語バーがタスクバーに結合された



## 機能が充実したタスクマネージャ

タスクマネージャを使えば、キー操作やマウス操作に応答しないウィンドウを強制的に終了できます。一部のウィンドウを強制終了しても、ほかのウィンドウには影響を与えません。タスクマネージャは、[Ctrl] + [Alt] + [Delete] キーを押すと表示されます。



[タスクの終了] をクリックすると選択中のタスクが強制終了される

## Windows Messenger

インターネット経由で会話を楽しみたいなら、Windows Messengerが便利です。文字での会話はもちろん、マイクを使っでの音声チャットやテレビ会議も可能です。

ビデオカメラを接続すれば映像を送ることもできる



## ユーザーの切り替えも簡単

Windows XPには、1台のパソコンを複数人で使うための仕組みがあります。各ユーザーは個別のデスクトップや「マイドキュメント」フォルダを使うことができます。プログラムを起動したまま、別のユーザーに切り替えることもできます。

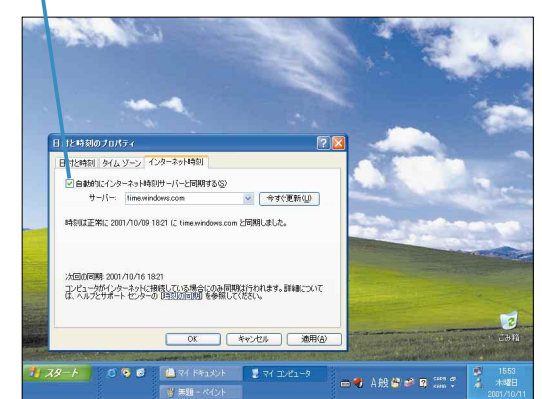
複数のユーザーでWindows XPを使えるように設定できる



## 日付も表示できるタスクバー

タスクバーの高さを広げれば、時刻だけでなく日付や曜日も表示できます。時刻はインターネット上の時刻サーバーを参照して自動的に更新されます。

ここにチェックを付ければ時刻合わせが自動的に行われる



# mini用語集

## .NET Passport (ドットネットパスポート)

Microsoft社の提供するインターネットサービス「.NET」を利用するためのアカウント。Hotmailのアカウントがあれば、.NET Passportとして使うこともできる。Windows XPでは、Windows Messengerなどを使う際に必要。

## CD-R/RW

CD-R (CD Recordable) と CD-RW (CD Rewritable) の総称。ともに書き込み可能なCDメディア。CD-Rは同じ場所に1度しか書き込みできないが、CD-RWはデータを消去すれば何度でも書き換え可能。書き込みには専用の装置が必要。

## クイック起動

タスクバー上で [ スタート ] ボタンの右側に表示されるツールバー。ボタンをクリックする操作により、アプリケーションをすばやく起動できる。Windows XPの初期設定では表示されていないので、利用するにはタスクバーのプロパティを変える必要がある。

## 言語バー

日本語入力システム (IME) のツールバー。デスクトップの右下隅でタスクバーの上に表示されている。入力モードの切り替えやIMEパッドの起動など、IMEに関する機能を実行できる。タスクバーの右端に結合することも可能。


## タスク

英単語のtaskは仕事、職務といった意味。Windows XPでは、フォルダのウィンドウに「タスク」の一覧がある。ファイルのコピーや移動、削除といった処理、仕事を選ぶことができる。

## 通知領域

タスクバーの右端にあり、各種のインジケータ (アイコン) が表示される領域。Windows Meや2000では「インジケータ領域」や「タスクトレイ」と呼ばれていた。更新の通知やハードウェアの取りはずし、Windows Messengerの状態など、さまざまなアイコンが表示される。

## バルーン

Windowsからのメッセージを表示する「吹き出し」。必要なときは自動的に表示され、放置すると消える。バルーンをクリックする操作で、メッセージに書かれている機能などを実行できる。右上隅の  ボタンで閉じることできる。

## メディア

ファイルなどの電子データを保存する記録媒体。電気的な方法や磁気的な方法で記録する。フロッピーディスクやMO、CD-ROM、CD-R、CD-RW、メモリーカードなどを指す。

## メモリーカード

カード型の記録媒体。もっぱら電気的な方法で記録する。コンパクトフラッシュ、スマートメディア、メモリースティック、SDメモリーカードといった製品があり、デジカメで写真を保存する用途にも使われている。パソコンでデータを読み書きするには、専用のカードリーダー/ライターが必要。カードアダプタ経由でPCカードスロットに挿入する方法もある。

## リムーバブルディスク

記録装置からの取りはずし (または交換) が可能なメディア。装置自体を指す場合もある。これらの意味ではフロッピーディスクやCD-R、DVD-RAMなどもリムーバブルディスクといえそうだが、一般にはMOやZip、メモリーカードなどを指す。

## できるWindows XP

### 新機能ガイド

2001年12月1日発行

発行 株式会社インプレス

〒102-0075 東京都千代田区三番町20

編集 できるシリーズ編集部

執筆 神田知宏

カバーデザイン 山岡デザイン事務所

©2001 Impress Corporation

本小冊子の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

「できるサポート」では、本小冊子に関するお問い合わせにはお答えしておりません。あらかじめご了承ください。